

教 生 学 第 3 8 5 号
令和4年(2022年)7月5日

各 教 育 局 長
各 道 立 学 校 長 様
各市町村教育委員会教育長(札幌市を除く)
(各市町村立学校長)

北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課長 泉 野 将 司

遊泳事故防止に係る対策について(通知)

このことについて、第一管区海上保安部交通部安全対策課長から、別添写しのとおり事務連絡がありましたので通知します。

今後、夏季休業を迎えるにあたり、海岸や河川付近等の野外におけるレジャー等の機会が増え、遊泳中の事故に遭う危険性が懸念されます。

については、別添「遊泳事故防止リーフレット」を児童生徒に配付するほか、特に次の事項について、夏季休業に入る前に必ず、学級活動やホームルーム活動等で児童生徒に対する安全指導を行うとともに、保護者に対しても家庭内で注意喚起が図られるよう働きかけをお願いします。

記

- 1 海岸や河川付近等の野外におけるレジャー等については、危険な場所に絶対に立ち入らないことや天候の急変に十分注意することについて指導すること。
- 2 児童生徒が個人やグループで水泳や水遊びに出かける時は、必ず保護者や水泳の熟練者と同行することや、海水浴場に指定されていない場所や遊泳禁止場所では、絶対に遊泳しないよう指導すること。

(学校安全係)



事 務 連 絡

令和4年6月21日

北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課課長 様

第一管区海上保安本部交通部

安全対策課長

遊泳事故防止に係る対策について（依頼）

平素より海上保安業務にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

さて、当庁におきましては、一部の学校や教育局等と連携し、北海道内の児童生徒を対象に、海の安全教室等の海の事故防止にかかる安全教育を行っているところです。今後もニーズがございましたら、他の学校等へも同様の対応を考えていますので、貴庁の所管する教育局や学校等へ紹介していただきたく、よろしくお願いたします。

また、夏季を迎えるにあたり懸念される、児童・生徒の遊泳中の事故を防止するため、別添リーフレットを作成しました。一人でも多くの児童・生徒・保護者の皆様に周知いただきたく、ご協力よろしくお願申し上げます。

（添付物）

- ・ 担当者様あて依頼文書
- ・ 安全教育一例、リーフレット活用、海難データ（担当者向け 2点）
- ・ 遊泳事故防止リーフレット（児童・生徒向け 4点）
- ・ 遊泳事故防止リーフレット（保護者向け 2点）

教育局、各学校ご担当者 様

北海道教育委員会
第一管区海上保安本部

「遊泳事故防止リーフレット」等の送付について

これから夏季を迎えるにあたり、道内における遊泳中等の事故を防止するため、関係資料を送付させていただきます。

北海道の夏は短く、海水浴等海辺でのレジャー活動の期間はわずかではあります。その短期間に多くの児童、生徒が事故に遭遇しています。

遊泳事故防止については、各方面からご尽力いただいている事とは存じますが、多くの児童・生徒・保護者の皆様に、必要な情報を提供することで、一人でも多くの命を守ることができればと思い、リーフレットを作成しました。

当庁の活動にご理解をいただくとともに、各学校等において、メール等でのデータ配信、掲示、配布、リーフレットを用いて、多くの皆様にお伝えいただきますよう、ご協力お願いいたします。

【添付資料】

- ・安全教育一例、リーフレット活用、海難データ（担当者向け 2点）
- ・遊泳事故防止リーフレット（児童・生徒向け 2点）
- ・遊泳事故防止リーフレット（保護者向け 2点）

※ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

（資料作成・送付元）北海道小樽市港町5番2号

第一管区海上保安本部 交通部安全対策課

0134-27-0118 担当 田中

教育機関と連携して行っている、安全教育の一例

各学校等教育機関と道内海上保安部署においては、すでに連携した安全教育活動を実施していただいております。海の安全教室等の出前授業、海やプールを使用した実習、職場体験等に併せた安全講習など、形態は様々です。
 様々な機会を捉え、繰り返し実施することで安全への意識が高まっていくものと感じます。
 最寄りの海上保安部（交通課）署または第一管区海上保安本部へお問い合わせください。



職場体験、職業講話に併せた安全講習

海上保安庁のできる活動の一例

- ・海の安全教室、講習等
- ・教材、動画等の提供
- ・事件事例、海難データの提供



小学校での出前授業



海浜清掃及び安全講習



安全啓発動画による安全教育

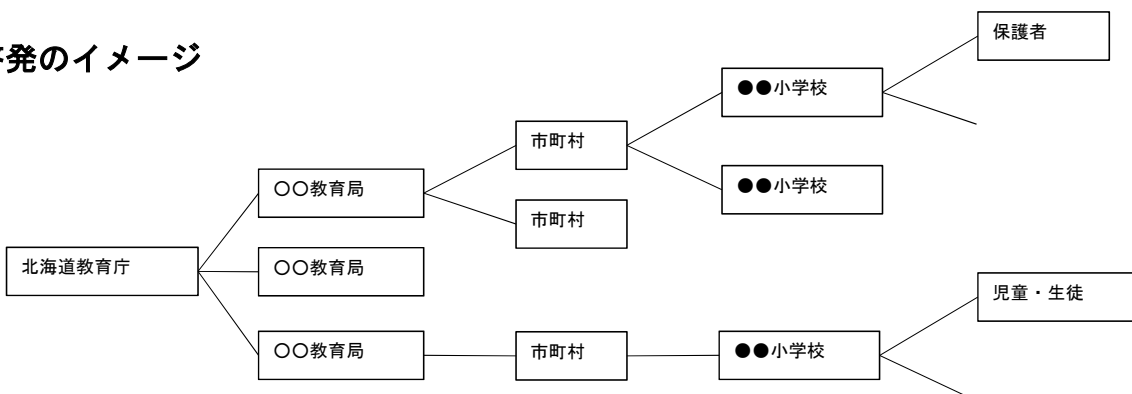


教育委員会への遊泳事故現地説明

リーフレット等の活用について

今年度、第一管区海上保安本部では、児童・生徒の海での事故を防止したいという思いから北海道教育庁に依頼し、リーフレット送付等による安全啓発活動を行っていきます。
 現在、学校等では保護者向け連絡アプリの利用や学生の個人端末利用がなされているかと思えます。
 夏に向けて、遊泳事故防止のためのリーフレットを作成しております。つきましては、従来のようにリーフレットを印刷するほか、PDFで配信するなど、広く児童・生徒・保護者の皆様に安全啓発できますよう、ご協力お願いいたします。

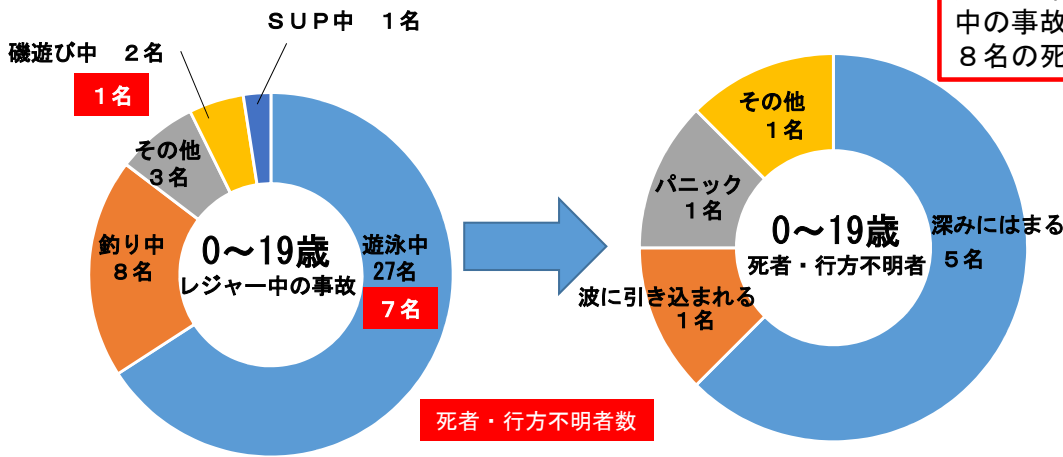
啓発のイメージ



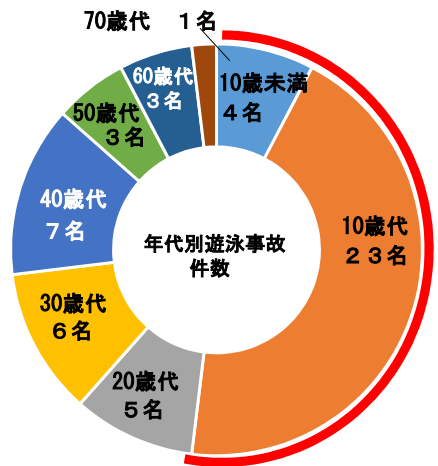
- ・連絡用アプリやメールによる配信
 - ・学生用個人端末への配信
 - ・印刷による配布
 - ・ホームルームでの指導
- 等

過去5年（H29～R3）の道内における マリンレジャーに伴う若年層事故

過去5年の間、20歳未満のマリンレジャー中の事故はグラフのとおりで、遊泳中等に8名の死者・行方不明者が発生しています。



20歳未満のマリンレジャー中の事故は遊泳中、釣り中に多く起こっています。
また、20歳未満の死者行方不明者は17～19歳の8名で、無謀な行為等により溺水する例がほとんどです。
遊泳中の事故を見てみると、事故者数は20歳未満が約半数、死者行方不明者も全年齢では17名、うち20歳未満が7名となっています。



過去5年（H29～R3）の道内における釣り中の若年層事故

事故内容/年齢	4歳	10歳	11歳	12歳	13歳	17歳	総計
海中転落	2				1	1	4
帰還不能		1	1	1	1		4
総計	2	1	1	1	2	1	8

このような海難データや事故事例を紹介することもできます。ご依頼については第一管区海上保安本部までお問い合わせください。

マリンレジャー中の事故で遊泳に次いで多いのが釣り中の事故です。
低年齢では家族で釣りに来た際に海中転落するケースがあります。一歩違えば死亡事故になり得るものです。
遊泳中と同様、子供から目を離さない他、体にあったライフジャケットを正しく着用することで助かります。
子供は着用していても、助けに飛び込んだ親がライフジャケットを着用しておらず、亡くなってしまうケースもあります。
子供の事故のみでなく、子を育てる親の命も大切です。保護者の皆様にも釣り事故防止の情報を提供できるようご協力お願いいたします。

教育局、各市町村教育委員会、各学校の皆様のお力添えて、1件でも事故を減らせるよう、1名でも多くの命を守れるよう、ご協力お願いいたします。

ほごしゃといっしょによみましょう

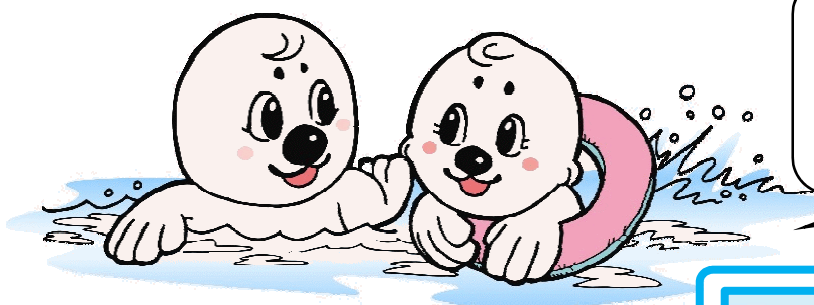
うみ 海でのおやくそく

- ①おとなといっしょにいきましょう
- ②かいついよくじょうでおよぎましょう
- ③さむくなったり、つかれたりしたら、
やすみましょう

うみであそぶのは、とってもたのしいです。でも、あぶないところもたくさんあります。

いっしょんで、おぼれたり、いのちをおとしたりすることもあります。

わらっておうちにかえられるように、おやくそくをまもってください。



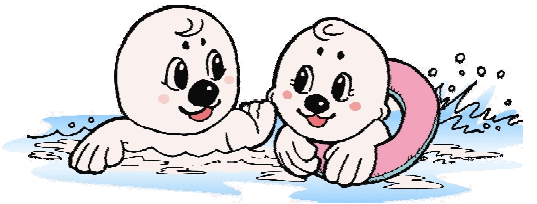
うみのもしものは
118ばん


Water Safety Guide

海上保安庁ウォーターセーフティガイド



海水浴でのお願い!



① 子供だけで遊ばないで!

お父さんやお母さんなど、一緒にきた大人の人から
離れず、一緒に遊ぶようにしましょう。

② 開設された海水浴場で遊ぼう!

監視員さんのいる「海水浴場」で遊みましょう。
遊びに行く前に家族とインターネットなどで調べてね。

③ 足の届かないところで遊ぶなど、 無理な行動はやめて!

海は急に深くなっている場所があります。
砂浜から離れすぎているか確認しながら遊みましょう。

④ 疲れたり、寒くなったりしたら休んでね!

つかれたら、おぼれやすくなります。
準備運動をして、休憩しながらあそんでね。

遊ぶ前にかくにんしよう!



うみのもしもは
118ばん

Water Safety Guide

海上保安庁ウォーターセーフティガイド



海を安全に楽しむために

海の特徴を 知ろう!

波や風

一定ではなく変化します。突然の大きな波に飲み込まれ溺れることも。強い風はフロート遊具が転倒したり、遠くまで流されたりします。

離岸流

見た目では分からない沖に向かう強い流れがありあつという間に沖まで流されます。海岸と平行に泳ぐことで、抜け出せることもあります。

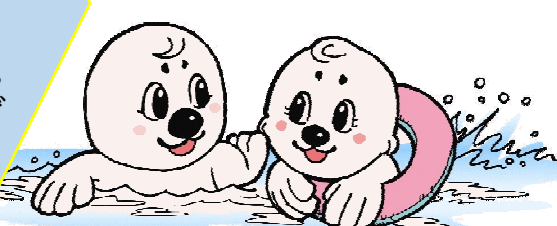
海底地形

海では海底が見えづらく急に深くなったり、石や岩等の存在で、溺れたり怪我をしたりする危険があります。マリンシューズ等の着用も効果的です。

危険生物

海にはクラゲやエイ等、毒を持つ生物もいます。「チクツ!」と刺されてパニックになることも。見かけたら、近寄らず絶対触らないで。

遊泳事故を 防ごう!



★開設された海水浴場で!

海浜事故のほとんどが海水浴場以外で起きています。監視員等のいる海水浴場を利用して!

★無理・無謀な行動はやめて!

体調不良で海に入らず、準備運動もしっかり行ってください。

★天気の良いときは、海に行かない!

事前に天気予報で風や波をチェック! 白波が立っていないか確認してください。

★大人の人と一緒に海へ

海では思わぬ事件・事故が起こります。きまりを守り安全に!


Water Safety Guide
海上保安庁ウォーターセーフティガイド 



うみのもしもは
118番

海水浴を安全に!

遊泳中における事故の半数以上が20歳未満、うち死者・行方不明者は、**全て10代後半**です。(過去5年統計)

海の特徴を 知ろう!

波や風

一定ではなく変化します。突然の大きな波に飲み込まれ溺れることも。強い風はフロート遊具が転倒したり、遠くまで流されたりします。

離岸流

見た目では分からない沖に向かう強い流れがありあつという間に沖まで流されます。海岸と平行に泳ぐことで、抜け出せることもあります。

海底地形

海では海底が見えづらく急に深くなったり、石や岩等の存在で、溺れたり怪我をしたりする危険があります。マリンシューズ等の着用も効果的です。

危険生物

海にはクラゲやエイ等、毒を持つ生物もいます。「チクッ!」と刺されてパニックになることも。見かけたら、近寄らず絶対触らないで。

遊泳事故を 防ごう!

🏊 開設された海水浴場で!

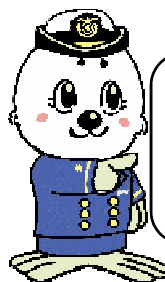
海浜事故のほとんどが海水浴場以外で起きています。事前に調べて、監視員等のいる海水浴場を利用してください。

🏊 無理・無謀な行動はやめて!

体調不良で海に入らず、準備運動もしっかり行ってください。無謀な行為による死亡事故も多く発生しています。

🏊 天気の悪いときは、海に行かない!

事前に天気予報で風や波をチェック!天気は変化します。白波が立っていないか風が強まっていないか、確認してください。



うみのもしもは
118番

海で遊ぶときは お子様へ手の届く場所で！ 目を離さないで！

北海道では、過去5年に52名の方が遊泳中の事故に遭っており、その半数以上が20歳未満です。

遊泳中の事故は、一瞬にして命を落とす危険があります。

海水浴など、海辺での活動は、子供から目を離さないことはもちろん、子供へ危険が迫った時にすぐに助けられる場所で、安全に十分配慮してください。

遊泳中の事故のほとんどが海水浴場以外で発生しています。事前に情報収集を行い、監視員やライフセーバーがいる開設された「海水浴場」を必ず利用してください。

●開設された海水浴場の利用

海水浴場以外では、水上オートバイ等との接触、監視・救助体制が整っていない等の危険があり、海水浴中の事故の9割以上を占めます。

●気象・海象等の事前の情報収集

風や波は想像以上の力があります。悪天候では予定を変更する勇気も必要です。子供との約束もあるかもしれませんが、命には代えられません。

●お子様を傍で見守り、無謀な行動はさせない

溺れるときは一瞬、音もなく静かに沈みます。子供のピンチを見逃さず、笑顔で帰宅してください。準備運動、適度な休憩も大切です。

●万が一に備えた連絡体制の確保

万が一に備え、スマホ用の防水パックを使用するなど、連絡体制の確保をしてください。海での緊急通報は118番です。



北海道教育委員会
第一管区海上保安本部

お子様が、友人同士で海へ遊びに出かけるときは、保護者の方からもご指導をお願いいたします。

北海道では、過去5年に52名の方が遊泳中の事故に遭っており、その**半数以上が20歳未満**です。

遊泳中の事故は、一瞬にして**命を落とす**危険があります。特に、体力のある**中学・高校生の死亡事故**が多く、事故のほとんどが海水浴場以外で発生しています。

事前に情報収集を行い、監視員やライフセーバーがいる開設された「**海水浴場**」の**利用**をお願いします。

お子様の元気な「ただいま!」
が聞けるように…

●開設された海水浴場の利用

海水浴場以外では、水上オートバイ等との接触、監視・救助体制が整っていない等の危険があり、海水浴中の**事故の9割以上**を占めます。

その他、思わぬ事件・事故に巻き込まれる可能性もあります。

●気象・海象等の事前の情報収集

風や波は想像以上の力があり、遊んでいる途中でも変化します。白波が立っていないか、風が強くなっていないか注意が必要です。

●無謀な行動をしない

海では見た目では分からない強い流れや突然の大波、急な深みがあり、泳ぎが得意でも溺れる危険があります。

10代後半では「無謀な行為」が原因の死亡事故が多く発生しています。

●万が一に備えた連絡体制の確保

万が一に備え、スマホ用の防水パックを使用するなど、連絡体制の確保をしてください。海での緊急通報は**118番**です。

行先、帰宅時刻の確認をし、元気な「ただいま!」が聞けるように…


Water Safety Guide

海上保安庁ウォーターセーフティガイド



北海道教育委員会

第一管区海上保安本部